

第三部 自由記述

女性の生き方と仕事についての悩みや問題、あるいは行政に望むこと
意見全体から

□記述ありは 45.6%、95 年は 24.3%

調査票の最後に、「女性の生き方と仕事についての悩みや問題、あるいは行政に望むこと」を自由に書いてもらった。記述は 392 人で、有効回収数の 45.6% であった。95 年の 24.3% (378 人) より 21.5 ポイント多く関心の高さを示す。

□年齢層別では前回同様 20 代が多い

年齢層別では「20 代」(51.5%)、「30 代」(49.5%)、「40 代」(46.0%)、「50 代」(46.0%)、「60 代」(35.4%) である。「20 代」の記述が最も多く、ついで「30 代」となっている。どの層も 95 年より 13 ポイントから 24 ポイント多くなっているが、年齢層別記述の順位、傾向は同じであった。

□内職、公務員の記述が多い

就業形態別にみると「内職」(71.4%)、「公務員」(68.3%)、次いで「2ヶ所以上パート」(61.5%)、「自由業」(60.0%)が多く記述している。95 年では「派遣・契約」「公務員」「常勤並パート」であった。

記述が少ないのは「短時間パート」(37.5%)、「自営業主」(42.9%)、「常勤並パート」(45.6%)である。95 年は「短時間パート」「内職」「家族従業員」の順であり今回は「内職」の記述が多い。

□企業への要望は労働環境の整備

「現在の職場では産休後復帰できないので子どもが産めない」「民間は育休をとりにくい」「長時間勤務がなければ働き続けられた」など子どもを産みやすい労働環境の整備が 73 件である。

□企業に対する「採用条件の緩和」

採用時の「年齢制限をなくして欲しい」の要望は 35 件ある。

□国に対して労働法の整備を

「雇用保険受給期間の延長」、中小企業での「産休、育休」の法整備、「社会保険や厚生年金加入の義務を法律で」など計 9 件ある。

□保育所・学童保育への要望はさまざま

「保育所を利用しやすく」は「緊急時はすぐに入れるように」「時間延長」、「保育料を安く」、「保育士を増やして」、「土日に開設を」など 46 件である。「夜間保育、病児保育」については 27 件である。学童保育については、「待機児童をなくして」「中学生まで開いて」など 17 件である。幼稚園については「幼保の一元化」「幼稚園の時間延長」である。

□子育て支援

「育児手当」「乳幼児医療助成の年齢を上げる」が多い。母親講習会など 30 件である。

		今回		95 年	
項目		N	記述回答比率	N	記述回答比率
全体		859	45.6	1555	24.3
仕事をしている		475	48.0	920	26.0
していない		384	42.7	635	21.9
年齢層別	20 代	136	51.5	268	29.1
	30 代	143	49.5	326	27.3
	40 代	172	46.0	321	21.5
	50 代	219	46.0	324	21.6
	60 代	190	35.4	309	22.0
就業形態別		475	48.0	920	26.0
正社員		123	52.0	209	27.8
公務員・教師		41	68.3	74	37.8
常勤並パート		79	45.6	180	31.3
短時間パート		120	37.5	166	19.3
2ヶ所以上パート		13	61.5	—	—
派遣・契約		17	52.9	9	44.4
内職		7	71.4	68	19.1
自営業主		28	42.9	52	28.8
家族従業員		34	47.1	122	16.4
自由業		5	60.0	36	30.6
その他		5	20.0	—	—
無回答		3	33.3	2	—

□高齢者問題 介護に援助を、年金が高い、老人施設や住宅をなど 21 件である。 □行政の労働環境整備や再就職支援 企業への労働環境整備指導や職業訓練への援助を希望などで 12 件である。 □その他の行政への要望はさまざま 「税金を安く」「職員の対応が良くない」「土・日の開庁」「支所を増やして」「道路の整備」など 54 件である。	□男女共同参画社会について 家事育児への「男性の協力」「社会の理解を」「企業の理解がもっと欲しい」「これからの女性は働いた方がよい」などに加え「女性は働かない方がよい」「子育てをしっかりとすべき」など 56 件である。「行政」のこの問題への取り組みについては 7 件である。 □ その他の意見 老老介護の不安、先行き不安、働くことの悩み、女性の雇用で町並みを美しく。住宅についてなどさまざま 27 件である。
---	--

			全て N=392		仕事を「している」 N=228		仕事を「していない」 N=164	
			人	率	人	率	人	率
行政への要望	子育て関係	保育所を利用しやすく	46	11.7%	17	7.5%	29	17.7%
		学童保育	17	4.3%	16	7.0%	1	0.6%
		幼稚園	3	0.8%	0	0.0%	3	1.8%
		病児保育、夜間保育	27	6.9%	18	7.9%	9	5.5%
		子育て支援	30	7.7%	14	6.1%	16	9.8%
	高齢者	介護、年金、施設、住宅	21	5.4%	12	5.3%	9	5.5%
	医療	医療機関の充実、医療費補助	15	3.8%	5	2.2%	10	6.1%
	労働環境	労働環境、法整備、再就職支援	12	3.1%	6	2.6%	6	3.7%
	男女共同参画社会、慣習への取り組み		7	1.8%	5	2.2%	2	1.2%
	生涯学習	生涯学習、公民館の利用	5	1.3%	3	1.3%	2	1.2%
	その他		54	13.8%	34	14.9%	20	12.2%
企業への要望	働く環境	労働環境の整備	73	18.6%	50	21.9%	23	14.0%
	育児支援	再雇用制度や職場保育所	10	2.6%	3	1.3%	7	4.3%
	採用条件	採用条件の緩和	35	8.9%	18	7.9%	17	10.4%
意見・思い	男女共同参画社会について		56	14.3%	29	12.7%	27	16.5%
	地域社会への意見	安全な社会	8	2.0%	4	1.8%	4	2.4%
		地域で子育て	1	0.3%	1	0.4%	0	0.0%
		ごみ問題	1	0.3%	0	0.0%	1	0.6%
	その他の意見		27	6.9%	16	7.0%	11	6.7%
国、県への要望	労働法整備など		9	2.3%	7	3.1%	2	1.2%
計			457	116.6%	258	113.2%	199	121.3%

女性の生き方と仕事についての悩みや問題、あるいは行政に望むこと
就業形態 正規就業（正社員・公務員・教師）

□女性家事という考え方はいいや

「女性家事という考え方はいいや。主婦が扶養家族で非課税限度内で働く考え方・制度はおかしい。子どもがいるから働けないというより、働く女性でも子どもを健診に連れて行けるよう日・祝日の健診日を作るなど制度の充実を図るほうがよい。少しの病気でも呼び出され、仕事を放り出して女性が迎えに行けるわけがない。また、そのため帰る人に対して職場の冷たい視線がある。育児面での制度を充実してもらおうほうが女性の働ける環境を作り出せると思う。」

（20代・正社員）

□ 男性の収入が少ないので結婚にも勢いがもてない

「今の時代は男性が収入が少ないので安心して仕事も辞められないし、結婚にも勢いが持てない。しかも、仕事も社員でなかなか途中でないので辞められない。辞めるといったら説得されるし、ストレスはつきものです。人生とは修行である。」

（20代・正社員）

□育児休業をとりやすく

「育児休業を取りにくい。どの会社、職種であっても平等に取れるよう対策を考えて女性が働きやすい環境にして欲しい。」

（20代・公務員・教師）

□人間らしく幸せに暮らせる社会に

「現代は女性の能力や女性の資質に光が当てられよい流れが出来てきている。私自身は女だから損をしているとか、差別をされているとかは感じていない。自分らしくいきいき毎日を過ごせることに感謝している。女だから男だからと、難しくラインを引くのではなく、それぞれが人間らしく幸せに暮らしていける社会になればよい。」

（20代・公務員・教師）

□社員を使い捨てにしないで

「男女共同の前に社員を使い捨てにしか考えていない体質をどうにかするべき。中途入社は契約や派遣ですぐに辞めさせられる。正社員を増やすようなしくみが必要。育児休暇も取り入れている会社に勤めているが、残ったメンバーで仕事をカバーするため一年近く仕事が忙しいのに給料は変わらないので不満が残る。」

（30代・正社員）

**□子どもを狙った犯罪を聞くたびに不安
 全校区に学童保育を**

「下の子は保育園に預けているが、小学校には学童保育がないので子どもを狙った犯罪を聞くたびに不安になる。全校区に子どもを預かってもらえるシステムが欲しい。」

（30代・正社員）

□ 女性の社会的能力を殺さないで

「女性が働き続けるためにとられてきた施策はいつも男性視点によるもの。私は高卒で正社員であるのを幸運に思うが、一流大学をでた友人ですら今は単なる専業主婦。出産・育児によるブランクはほとんどの場合、女性の社会的能力を殺してしまう結果となる。職場復帰の保障を制度として確立できる社会になれば女性の人生は豊かになり、女性が幸せなら、男性も社会も幸せになれると思う。」

（40代・正社員）

□ 職場復帰の環境整備を

「子育て中の女性が職場復帰する環境が整っていない。学童保育にしても希望時間より短く安心できない。内情が分かっている人のみ優遇され、一般市民の公的機関の対応は目に余るものがある。アンケートも良いが、対応する人間の質の向上を切望する。」

（40代・正社員）

□人員に余裕が必要 「単に産休を長くしたり、保育所だけでは十分ではない。産休による欠員は残って働くものにとって大きな負担になり、産休をとるのにも気を使う。環境が整ってなければ、子どもを生むことに躊躇する。子どもを生んでも自分も職場も守られるような取り組みを願いたい。」 (40代・公務員・教師) □主婦が働き続けるには何かを犠牲にする 「子供が独立し、主人の親もなくなり、仕事が続けられている。入院するたびに退職し、また仕事を探して就職をするくり返しだった。病気の親をかかえての仕事は無理だと思う。自分のしんどさより周りの目が気になり仕事をやめたように思う。仕事を主婦が続けるには、何かを犠牲にしないと無理なような気がする。子どもは親が頑張ればついてきてくれると思う。」 (50代・正社員) □これからの介護が不安 「80歳と78歳の父母との3人暮らし(2人の子供は独立)。もし両親のどちらかがぼけたらすぐに入れる施設があるのか。父の年金で介護の費用が補えるのか不安。家族で介護できる人がいれば施設に入りにくいと聞いているが、私は定年まで働くつもりだ。」 (50代・正社員) □社会が父親の子どもと接する時間を増やすべき 「女性が仕事を持つことで1番の悩みは子育てです。祖父母、夫の理解協力がなくては成り立たない。父親として子供に接する時間をもっと増やすべき。社会がそれを認めない限り、子どもを持つことは働く女性にとってはバリアになってしまう。」 (50代 公務員・教師) □残業が多くなった 「会議や見回りなど年々忙しくなり、クラスのことをする時間が少なくなり仕事を持ち帰ることが多い。評価育成システムにより現場の管理がますます厳しくなり、気分的にも明るい光が見えない。不安。」 (50代・公務員・教師)	[まとめ] □企業に望む (30件) ○産休・育児休業の充実、徹底を ○産休を取ると復帰できない ○制度があっても残る人のことを考えるととれない ○再雇用制度充実、定年制の延長 ○賃金の格差について(泉州と大阪の賃金格差を解消して欲しい) ○長時間労働でへとへと ○労働環境整備を □保育所を利用しやすく、夜間、病児保育を、学童保育所の充実を (16件) ○病児保育をして欲しい ○学童保育の7時までの延長を ○学童保育所は全員入れるようにして欲しい ○公立保育所を減らさないで □出産、育児、育児支援 (6件) ○乳幼児医療補助がないと2人目を産めない ○行政の子育て支援の充実を ○教育費の見直しを ○教育費へかけすぎ □行政への不満、要望その他 (14件) ○行政の施策をもっと伝えて欲しい(仕事と子育ての両立について、男女平等施策、育児支援など) ○報告書はまとめるだけでなく、実際に行政に生かして ○社会福祉の充実 ○土・日・祝日に役所を開いて ○子どもの健診を日曜・祝日に ○職員の質の向上を ○支援(福祉)を受ける人達の再吟味 ○税金を適正に、かつ有益、無駄遣いをするな □男女共同参画社会への意見 (13件) ○男性の家庭での協働、協力が必要 ○行政がバックアップしなければ実現無理 ○正社員として働くべし
---	--

女性の生き方と仕事についての悩みや問題、あるいは行政に望むこと
就業形態 非正規（常勤並パート、短時間パート、契約・派遣）

□主婦をちゃんとこなすべき

「結婚して子供もいて、仕事をしていないのなら主婦をちゃんとこなすべき！ 女性が仕事に出るなら男も女も仕事で疲れているので平等！子育てはパパにもしてもらって家の掃除やご飯は女がするもの。男も家の洗い物など手伝うべき！ 女が仕事、子育て、家事すべてするのはアカン。やっぱり子供を一人にさせない。誰かが見れるように家の中で分担せな、若くて親殺ししたりイライラする子供になると思うから。子供、家族を仕事がしんどいつて見られへんようじゃ仕事はしないほうがいいと思います。」
 (20代・常勤並パート)

□子どもが小さいときから、働く場所を確保

「子供が手を離れる頃になると自分の年齢もあがってきている為、いざ働こうとした時は年齢で面接も受けられない状態です。そうなると子供が小さい時から仕事を探して、働く場所を確保するような感じになります。実際に働いてみたらまだまだ大丈夫なこともあるでしょうから、もう少し年齢制限の幅を広げてもらえたら。求人広告を見るたびにそう感じています。」
 (30代・短時間パート)

□賃金の格差をなくして

「職種によって違うと思うのですが、男女の賃金の格差をなくして欲しいと思います。男にしか出来ない仕事、女性の方が適している仕事、それぞれの選択肢を自ら選べる会社側の指針が欲しい。」
 (60代・短時間パート)

**□安心して働き、子育てできる環境を
病児保育、学童保育の充実を**

「子供(幼児)を持つ女性は正社員として働くには、やはり条件はまだまだ悪いと思います。もっと、夜間の救急病院を増やしたり、会社の雇用条件も良くなくては、少子化は進む一方だと思います。学童保育なども充実して(習い事をさせてくれるとか)もらえたら良いと思います。」
 (30代 派遣・契約)

□市民病院に産科を

「市民病院に産科が現在無い事が不安です。子供を産む為には必要な場所が市民病院に無い事は「産む」選択にかかわってくると思います。女性が子供がいても働き続ける事が必ずしも良いこととは思いません。それよりも、子供を育てる大切さをアピールするほうが良いのでは？そのためにも公立の小中学校の現在荒れている状況を変えるべきなのでは？」
 (30代・派遣・契約)

仕事と家事の両立は難しい

「年毎に体力もおちてくる為、仕事と家事との両立が難しい。対人関係も女性中心の職場でいつも気になる。リフレッシュしたいけれど育児に費用がかかりなかなか思うように家計の足しにならない。女が働くのはまだまだ難しい。」
 (40代・常勤並パート)

□子供の食育を大切に

「仕事は自分の人生においてとても大切なことだと思いますが、家庭がある女性は絶えず子ども達の安全・健康を願いながら仕事を続けていかなければなりません。最近よく言われている“食育”がどうしてもおろそかになりがちです。ついつい買ったものでもせたり。何か良い方法があれば行政で具体的なすばらしい案はありませんか？たとえば

- ・夏休みとかに子ども達に料理学習
- ・野菜の栽培を実施させていく
- ・希望者のみ弁当などの宅配サービスなど

 (40代・常勤並パート)

□「常勤並パート」の生活は大変だった

「非常勤講師業は、契約は一年ぎりで時間数の変動があり、その都度夫の扶養に入ったり出たりが生じる。公務優先にすると(私はそうしている)扶養を受けられず、かといって十分な給与も確保できないで(130万円ライン上のとき税・保険料が増大する。常勤以上)の労働時間でありながら厚生年金等に参加できない不安定なものである。(7月23日NHKスペシャル「日本の貧困」で取り上げられたワーキングプアの実態を本市でもきちんと調査すべきです)」
 (40代・常勤並パート)

□いざという時みてくれる人がいなければ働けない 「自分の経験として子供が幼い時急に病気になったりするし、保育所は預かってもらえないので職場に迷惑をかけることになるので、子供だけ寝かせて仕事に行かなければならなかった。病児保育や、家庭での個別保育があれば助かると思います。今後は老人の介護などでも同じようなことが言えると思います。実際には核家族が多い社会では、いざという時みてくれる人がいなければ働けないと思います。」 (40代・短時間パート) ~~~~~ [まとめ] □企業への要望 (19件) ○正社員にして欲しい ○通勤手当を ○収入を安定して ○有給手当を ○有休を気軽にとりたい ○雇用保険、健康保険に入りたい ○男女の賃金格差をなくして欲しい ○産休、育児休業、介護休暇制度の充実 ○パート従業員を差別しないで □採用条件の緩和、再雇用制度 (15件) ○高齢者の仕事が欲しい ○再就職のための制度の充実、サポート ○年齢制限の枠を広げて ○もとの職場に安心して再就職できると良い ○家庭でインターネット等で求人が見られるように ○土・日が休日のところへ行きたい	□保育所、学童保育の充実を (19件) ○病児保育、長時間保育、夜間保育の充実 ○一時保育をして欲しい ○保育料をやすく ○学童保育の待機児をなくして ○保育所や、子育てに助けとなる機関の充実 □出産子育て支援(5件)、市民病院の充実など (5件) ○乳幼児医療無料化 ○市民病院に婦人科を ○荒れた中学校が心配 ○働く子育て中のお母さんの支援を行政でしっかりと □行政へのその他の希望 (13件) ○役所の休日営業 ○税金の有効利用 ○職員が多すぎる ○職員に丁寧な対応を ○福祉の充実 ○年金問題、母子家庭、生活保護世帯の見直しを □男女共同参画社会について (9件) ○就職の際の男女差別、職場の男女格差、賃金差別をなくして ○男女共同参画制度の中身の充実・家庭内の男女の協働、男女協働の大切さ ○「家事は女」の考えの男性が多い。男性の協力があれば働き易い ○小さいときからの男女平等教育を □その他の意見、思い 先行き不安 (6件) ○不況で生活が苦しい ○年齢でいつ解雇になるか心配 ○生活補助を受けているが、先行き不安 ○母子家庭でパートで生活が大変
---	---

**女性の生き方と仕事についての悩みや問題、あるいは行政に望むこと
就業形態（自営業主、家族従業員、内職、自由業）**

□保育所に入れない

「保育所に預けたくても厳しい条件や高額負担、学童保育も3年生までしかないのも疑問。子供を預けるのにはいろんな条件や規程が多く、不可能。一般市民が住みやすく働きやすいようにして欲しい。税金、年金も負担が多い。一般市民の負担を多くする前にすべきことがあるのではないか。市長が変わった機にこの現状を変えてもらいたい。」

(20代・家族従業員)

□子育て講座や相談できる機関

「仕事をしながら子育ての難しさを痛感している。自営なので仕事が忙しくなると子供にかまっていざることができず、心を痛めたこともあった。年を取るごとに心の余裕ができたのか、同じ仕事の忙しさの中でも、今だったら仕事と育児の両立がもっとうまくできたのではと思う。子育て講座や相談できる機関があることがとてもありがたく、それに力をいれてほしい。」

(40代・自営業主)

□介護支給をやさしく利用させて

「自営は自分の用事があるときも調整できるが、要介護者が家にいる場合には大変生活に迫られる。介護支給を優しく利用させてほしい。時間的にゆとりをもって面倒をみてほしい。その分家族の心のゆとりもとれるので、皆の身体も楽で、精神的にも前向きにさせてほしい。」

(40代・家族従業員)

□家庭の収入を考えて、保育所入所を

「夫の収入が少なくパートでもと思って、子供を見てくれず、祖父母がいないし、仕事をしていないと保育所にも入れないので、仕事を探すこともできず内職しかできない。仕事をしているか否かだけでなく、家庭の収入の面からも保育所の入所を認めて欲しい。」

(40代・内職)

□もっと原点を見直さなければいけません

「仕事を理由に、学校や地域の係りを引き受けない、行事に参加しない人がほとんどです。健全に育っていない子供が増えているのは、こんな些細な育児放棄も関係があると思います。料理も手抜きになる。疲れていつもいらいらしている、そんな母親が多いと思います。でも共働きをしなくても子供を大学に行かすことができる家庭は少数です。何が悪いのでしょうか。もっと原点を見直さなくてはいいませんね。」

(40代・自由業)

□子育て支援を

「私の世代は仕事も子育ても終わっているが、子どもの世代は両立が大変。少子化にならざるを得ない環境である。働きながらの子育て支援が急務と思う。」

(50代・自営業主)

□民間企業を理解して

「①保育所の定員増加(定年者のボランティアの活用) ②役所の入札単価が低すぎ→利益が取れない ③保育料の見直し ④役所は民間企業・商店を訪問して大変さを認識して欲しい。」

(50代・自営業主)

□慣習にとらわれず、自分らしく生きたい

「男性女性是这样、という考えを変え、人間としてひとりひとりの人生を大切に安心して生きられる社会を願う。結婚と同時に姑舅に束縛され、嫁はその家のしきたりに従うことを当たり前とされて、人生のほとんどを自分らしく生きられないでいる女性が、今も多くいることを知って欲しい。女性はいっと自由な社会に出て、社会の進歩に貢献することができるはず。」

(50代・家族従業員)

□家事で夫の協力は少ない、行政も

「家事で夫の協力は少ない、子育ても母親任せ。子供が悪いと皆母親のせい、男はもっと現実と向き合って欲しい。夫が病気がちで生活が不安な場合、女性が働けないとやっていけない。企業と行政がもっと働く人の立場になって福祉の面、保育所を増やすなど、また休暇もとりやすくしてほしい。このままでは生活保護を受ける人が多くなると思う。公務員は給料をもらいすぎ。」

(50代・内職)

□子供の安全のため学童保育を中学生まで

「学童保育の充実。子供の安全のためにも中学生になるまで全員が学童に入れるようにして欲しい。学童が無理なら公民館等で子供の居場所を作って欲しい。」

(50代・その他)

□サークル活動の充実を

「地域に根ざしたサークル活動の充実を望む。各講座の社会人登録制度などを導入して余暇活動を支援して欲しい。」

(50代・その他)

□老老介護が目立つ

「核家族が多い昨今、老老介護が目立ちます。介護士、看護師の人数の見直しをして、行きわたる福祉を願いたい。予算不足なら議員を減らせばよい。もっと市民の現状を把握して欲しい。」

(60代・家族従業員)

[まとめ]

□学童保育・保育園の充実 (16件)

- 保育料を安く
- 病児保育を
- 夜間保育を
- 長時間保育を
- 待機児の解消を
- 保母の数を増やす
- もっと利用し易く

□出産、子育て支援 (3件)

- 産休後、復職できるなら安心して出産できる
- 子供を育てるのに不安のないシステム作りを

□行政への要望その他 (7件)

- 収入に対して税金が高すぎる
- 税金、社会保険料を無駄なく使って欲しい
- 休日の開庁を
- 入札単価が安すぎる
- 民間企業を訪問して学んで欲しい
- 職員の態度改善
- 各課がわかり、なじみやすい役所にして欲しい

□男女平等参画社会について (7件)

- 女性差別がなくなり、相手を尊重する日が早く来ますように
- 家庭に束縛されず女性がもっと自由に社会参加できるように

□その他の意見

- 不況で生活が苦しい
- 年金保険料、税金に追われている
- 不景気、健康面でも不安

**女性の生き方と仕事についての悩みや問題、あるいは行政に望むこと
仕事をしていない**

□下の子が小学生になれば正社員で働きたい

「結婚、出産して周りのサポートがあれば働きたいと思っていましたが、出産して子どもと一緒にいたいと思うようになりました。下の子が小学生になれば正社員で働きたいと思っています。自分が自立していれば子どももその姿を見て理解してくれるのではないかと。なので勉強中です。」

(20代)

□男性は子育てにもっと協力を

「子育てというのは、やはり夫の協力が一番だと思う。そういう環境から女性も仕事、子育てをスムーズにでき、子どもにも負担というものをかけないと私は思う。最近の男性は協力しなさすぎだと思う。」

(20代)

□お金が入っても家庭崩壊では困る

「職場を離れて生活が子ども中心になり、仕事へは遠のき、あいた時間のみ雇ってくれる都合の良い企業もなく、あったとしても納得の行く給料をいただくわけでもなく、難しいです。両立するには覚悟が必要です。お金が入っても家庭崩壊ではしゃれにもなりません。」

(30代)

□資格取得のための援助を

「保育士やホームヘルパーなど資格をとって働きたいが、短期間でも子供を預かったり資格取得の補助があればよいが、行政からの補助は雇用保険の補助くらいか。あるいは働きながら資格取得できれば理想的だ。」

(30代)

□もっと子どもを産みやすく

「もう1人子供がほしいのですが、私が働かないと生活ができないので子供はあきらめるつもりです。もっと国が子供を産みやすい環境を作ってください。あまり期待していませんが・・・」

(30代)

□40歳すぎると断られる

「年齢不問といっても40歳すぎると断られる事が多い。子育ても終わり仕事に集中できると思うのですが、会社は若い子の方が花があってよいのかな？この年齢は難しい。」

(40代)

□病児保育を

「現在会社などで有給休暇は有りますが、子供が熱を出して休みたいと言うと「又か!!」とか「やめてくれていいよ」などと言われるそうです。これでは仕事をしたくてもできません。子供が病気でもあずかってくれる施設がもっとあればたすかります。」

(40代)

□老人には行政は出向いて相談を

「結婚しない人や子供を持たない人が増え老後一人になる女性が増えています。一番の悩みは相談する人がいないことだと思います。介護や年金、病気（病院の往復など）色々な問題を相談するためにこちらから行政に出向くことなく行政（役所）の方から出向いて説明なり書類など用意してもらえたら助かると思います。（足腰の悪い人が多数います。）」

(50代)

□公民館の利用は無料で、いろいろな講座を

「公民館などの施設の利用について現在では自主クラブ運営になっているが昔のように色々な講座教室を開いて欲しい（無料ででした）。働いていない主婦、年金をまだもらえない者にとっては、一部の人のための公民館や、体育館の様な気がします。」

(50代)

□公共の施設を有効利用して

「公共の施設の有効利用を考えていただけないものかと思っています。公民館、町会館をもっと活用できたら。」

(50代)

□未婚、離婚、出産拒否を防ぐには 「働きながら育児、家事を夫の助けを得ながらすごしてきました。他人には任せられないことの多い女性の負担が、少しでも軽くなるよう男性の理解、行政、企業の協力がないと、未婚、離婚、出産拒否が多くなります。人間を育てることの大切さを家庭、学校、行政が力を合わせて行って欲しいものです。」 (60代) □少子化防止に一番大切なこと 「私は63歳です。結婚してからは仕事は一度もしたことはありません。私の今迄の人生は、高度経済成長の時代だったから、仕事をしなくてもどうにか子育ても含めて生きてこれた様な気がしております。現在、今後の女性は仕事をしなければいろんな意味で大変だし、しなければいけない社会になっている様に思います。奥様（主婦）の心がけが大事だと思います。私が一番思う事として税金のむだ使いをせず、子育ての為に保育所や勤務先の理解や再雇用の必要性を考えてはどうでしょうか、と思います。これが少子化の防止に一番大切な様に思います。」 (60代) ~~~~~ 【まとめ】 □企業の労働環境整備への要望(23件) ○産休、育児休業をとりやすく ○子育てのための有休制度が欲しい ○残業をなくしてくれれば働き続けられる ○出産で退職を余儀なくされた ○出産、子育てへの職場の理解と充実 □再就職へのサポートを(24件) ○女性の自立として働きたい、仕事がしたい ○年齢制限をなくして転職枠を ○職業訓練を受けたい ○正社員として働きたい ○元の職場にもどりやすく ○職場に託児所が欲しい	□保育所・幼稚園を利用し易く(42件) ○保育所を多く、時間延長など ○保育所に入所し易くして ○保育料を安く ○病児保育を ○休日保育を ○夜間保育を ○幼稚園を利用し易く ○幼稚園を3年に、午後も保育を □出産、育児支援(16件) ○医療費が高い ○育児手当の増額を ○乳児手当、医療補助の年齢などの引き上げ ○行政、職場での子育て環境整備 ○地域ぐるみで子育てへの支援や環境整備を ○少子化ストップに対する企業への呼びかけ □行政への要望 (201件) ○教育を充実 ○市の広報の充実を ○議員数を減らして ○税金を高年齢者対象だけでなく若者の施策にも ○道路整備をして欲しい ○税金を安く、無駄遣いするな ○公共施設の無駄をなくし有効利用を ○生活保護の見直しを ○職員の給料見直しを ○無駄の見直し、社会の安全面を重視 ○公務員と一般企業との格差は大きい。 ○教育に重点を、人間をそだてる大切さを行政でアピール ○介護は老人のために行政が引き受ける事 □男女共同参画社会について(31件、18.9%) 賛成意見だけでなく批判意見もあり ○男性よしっかりせよ ○男性も考え方を变えて ○女が働くのは反対、子育てを一生懸命に ○子供を犠牲にして働かないで ○ジェンダーフリーについて □その他(12件) ○少ない年金からいろいろ引かれ大変 ○生活が大変 ○年金、介護の不安
---	---

